

平成 28 年 4 月 26 日
復興庁

平成 27 年度ハンズオン支援事業等の成果公表について

- 復興庁が平成 27 年度に実施しました「被災地域企業新事業ハンズオン支援事業」(以下「ハンズオン支援」と「ハンズオン支援専門家プール事業」(以下「専門家プール」)の支援結果がまとまりましたので、お知らせします。
- 民間企業出身の復興庁職員が民間の知見を活用しつつ、被災地企業の経営課題を解決していく「ハンズオン支援」では、合計 15 件の支援を行いました。

【森下水産株式会社(岩手県大船渡市)の事例】

一般消費者向け事業を立ち上げるため、マーケティング手法を導入し、専門家やデザイナーの紹介による商品開発を支援。開発した新商品は、2 月に開催された「岩手県水産加工品コンクール」で県知事賞を受賞。

【株式会社磐城高箸(福島県いわき市)の事例】

割り箸の製造過程で発生する木片チップを活用した「枕」の製品化と販路確立に向けて、素材の成分分析やパンフレットの作成、展示会出展、プロモーションとしてクラウドファンディング等を支援。新商品「眠り杉枕」は、5月中旬より販売開始予定。

- また豊富な経験を持つ専門家・専門機関が集中支援を行う「専門家プール」では、合計 21 件の支援を行いました。

【株式会社木の屋石巻水産(宮城県石巻市)の事例】

若い世代に受け入れられる鯨肉を使った商品の開発を支援し、食の専門家による指導によりファーストフード感覚の新商品を開発。3 月に工場直売場で実施した販売会では、3 時間で 240 袋を完売。

- 両事業とも、平成 28 年度も引き続き実施し、本日 4 月 26 日(火)より支援案件の公募を開始します。
(注)「ハンズオン支援専門家プール事業」は、「専門家派遣集中支援事業」に名称変更します。

(添付資料)

別紙1 被災地域企業新事業ハンズオン支援事業成果について

別紙2 ハンズオン支援専門家プール事業成果について

(参考資料)

1. 被災地域企業新事業ハンズオン支援事業の成果(詳細)
2. ハンズオン支援専門家プール事業の成果(詳細)

以上

本件問合せ先
復興庁
企業連携推進室 中橋、花岡、加藤
TEL : 03-5545-7253




被災地域企業新事業ハンズオン支援事業成果について

復興庁では民間企業出身の職員の知見を活用し、「被災地域企業新事業ハンズオン支援事業」（以下「ハンズオン支援」として、新商品開発、販路拡大、新事業の立ち上げ等にチャレンジする被災地域企業に対して、寄り添いながら経営課題を解決していく支援を行っています。

同事業では新商品の開発や販路拡大に向けて、大学や産業支援機関など専門家の協力も得て、事業化検討を行い、被災地域における新産業の創出に繋がる事業（新商品の開発、販路拡大等）に対して、平成 27 年度に支援した 15 事業の支援結果がまとまりましたので、お知らせします。

支援結果のうち代表的な 3 件の成果の概要は、以下の通りです。

【代表的な支援案件の成果(概要)】

	事業名・事業主体	支援概要	
1	三陸産原材料を活かした 新商品開発・販路開拓事業 【森下水産(株)】	新規に一般消費者向け事業（B to C 事業）の立ち上げを計画していた事業者に対し、B to C マーケティング手法を導入した商品開発、販路開拓からプロモーションまでの営業支援を行うとともに、消費者調査に基づき新商品の課題を抽出し、次年度以降に向けた改良提案を実施した。	
2	半油調商品の販路開拓及び 新商品開発事業 【マルブン食品(株)】	水産加工品である「揚げかまぼこ」製造を生業とする事業者に対し、“揚げたて”の美味しさが味わえる半油調商品の販路拡大を目指し、国内外への販路拡大に向けた販促ツールの製作やバイヤーに対する営業支援を行うとともに、将来的な海外展開に必要な基礎調査を実施した。	
3	いわき産杉の間伐材を利用した 新商品開発事業 【(株)磐城高箸】	間伐材を利用した純いわき産杉割り箸の製造・販売を行っていた事業者に対し、新規事業として、割り箸の製造過程で発生する木片チップを活用した「枕」の製品化と販路確立に向けた支援を実施した。	

全15事業の成果概要は、次の通りです。

平成27年度 ハンズオン支援の成果(概要)

	事業名・事業主体	支援概要
1	健康機能性アカモク産業化事業 【岩手アカモク生産協同組合】	海藻アカモクの新規工場の設立を検討している事業者に対し、事業の採算性の評価や事業計画・財務計画の策定、必要資金の調達先の確保を支援するとともに、2016年度以降の新規工場の着工、操業開始に向けた課題整理を支援した。
2	伝統的工芸品「岩谷堂筆筒」の製造技術を活用した「岩谷堂くらしな」製品の生産・販売体制検討事業 【岩谷堂筆筒生産協同組合】	伝統的工芸品の製造技術・技法を生活日用品に活かした新ブランドを柱にすべく模索していた事業者に対し、新ブランド事業の位置づけの明確化やマーケティング手法の見直し、生産体制の見直しを支援し、2016年度以降の新ブランド事業の課題を整理した。
3	三陸産原材料を活かした新商品開発・販路開拓事業 【森下水産(株)】	新規に一般消費者向け事業(BtoC事業)を計画していた事業者に対し、BtoCマーケティング手法を導入した商品開発、販路開拓からプロモーションまでの営業支援を行うとともに、消費者調査により新商品の課題を抽出し、次年度以降に向け改良提案した。
4	販路回復・拡大のための衛生管理マネジメント構築事業 【サンコー食品(株)】	食の安心・安全・高品質への顧客ニーズの高まりを受け、業務用の水産原材料加工を担う自社独自の衛生・品質管理への取り組みを見直し、専門家の知見を活用した衛生・品質管理改善マネジメントシステムの構築を実施した。
5	東北大学大学院歯学研究科発シースを活用した歯周病治療器の製造・販売事業 【(仮称) (株)Feat.】	東北大学大学院が開発した治療法を活用した歯周病治療機器を製造・販売する新会社の設立を検討している事業者に対し、消費者ニーズの有無や市場規模の調査等を支援し、資金調達に向けた事業計画の精査や新会社設立に向けた課題整理等を実施した。
6	半油調商品の販路開拓及び新商品開発事業 【マルブン食品(株)】	水産加工品である「揚げかまぼこ」を製造する事業者に対し、“揚げたて”の美味しさが味わえる半油調商品の販路拡大を目指し、国内外への販路拡大に向けた販促ツールの製作やバイヤーに対する営業支援を行うとともに、海外展開に必要な基礎調査を実施した。
7	地域雇用・高齢者の生きがいの創出を目的とした一時預かり施設整備事業 【アールズ(株)】	地域雇用・高齢者の生きがい創出を目的とした一時預かり施設の整備を計画していた事業者に対し、市場の将来性や参入の容易性整理や事業計画の作成、競合差別化を目的とした付加価値サービスの収集・整理等を行い、来年度以降の事業展開を準備した。
8	石巻ササニシキのブランディング及びオーガニックカフェ等展開事業 【(株)田伝むし】	生産量が激減しているササニシキのブランディング(認知度回復)・生産拡大を目指している事業者に対し、新商品開発を提案した上で、商品コンセプトの構築、レシピの決定、販促プロモーション等を行い、石巻の水産品とコラボした新商品開発を支援した。
9	雪用塗料生産工場の新設に伴う生産・販売体制構築事業 【KFアテイン(株)】	ワックス製造・販売を行っていた事業者に対し、売上拡大に向けた効率的な営業活動を行うためのマーケティング戦略の明確化や戦略を立案するための合理的な実証試験、実証試験結果を踏まえた営業ツールの作成支援を実施した。
10	フレキシブルシルク及び関連商品の製造・販売事業 【エーアイ・シルク(株)】	「フレキシブルシルク電極」の製造・販売等を行う事業者に対し、パートナー企業を探ることを目的として認知度の向上を図るとともに、事業資金の調達支援を行い、ビジネスモデルの策定を支援した。
11	有田焼400年の伝統技術を応用した高輝度蓄光建材「ルナウェア」販路開拓事業 【コドモエナジー(株)】	高輝度蓄光建材を使用した蓄光セラミック避難誘導標識の製造・販売を行う事業者に対し、販路拡大を目的として被災3県(特に福島県)の自治体・行政機関への提案に向け、課題やニーズの明確化、製品改善・ラインナップ拡充、営業活動の支援を実施した。
12	いわき産杉の間伐材を利用した新商品開発事業 【(株)磐城高箸】	間伐材を利用した純いわき産杉割り箸の製造・販売を行っていた事業者に対し、新規事業として、割り箸の製造過程で発生する木片チップを活用した「枕」の製品化と販路確立に向けた支援を実施した。
13	次世代農業技術を活用した“いわき”複合型農業福祉構想の立ち上げ事業 【(株)イノベーション農業福祉研究所】	先進的な工場におけるトマトの生産・販売をメインに、エネルギーセンター、老人福祉が複合的に連携する事業構想の立ち上げを図る事業者に対し、構想から具体的な課題への落とし込みを行った上で、事業の収益性の検証を実施した。
14	相双地域における石油代替エネルギー供給ビジネスの立ち上げ事業 【相馬ガス(株)】	再生可能エネルギーの利用促進を図る南相馬市において、太陽光発電を利用した電力供給事業への参入や水素社会の構築実現を検討している事業者に対し、事業内容の具体化、課題の洗い出し、関係者との構築について支援を実施した。
15	福島県の未利用モモを利用したアルコール発酵(モモのエタノール)による新商品開発事業 【(株)ファームステーション】	発酵、蒸留技術を活用し米からエタノールを抽出する事業を行っていた事業者に対し、福島県桑折町の未利用桃(廃棄せざる得ない桃や間引き対象の桃)からエタノールを抽出した新商品開発に向け、成分分析や競合商品調査・助言、販路開拓支援等を実施した。




ハンズオン支援専門家プール事業成果について

復興庁では、被災地で新たな事業を立ち上げる企業等に対して、専門家・専門機関が指導・助言のほか、試作品の作製等実務面まで集中支援を行う「ハンズオン支援専門家プール事業」（以下「専門家プール」）を実施しています。

このたび平成 27 年度に集中支援を実施した 21 事業の支援結果がまとまりましたので、お知らせします。

支援結果のうち、代表的な 3 件の成果の概要は以下の通りです。

【代表的な支援案件の成果(概要)】

	事業名・事業主体	支援概要
1	一関工場の生産効率化 【(有)千葉恵製菓】	<ul style="list-style-type: none"> ・生産工程の効率化 ・製造部門リーダー育成の支援 ・作業環境の改善  <p>作業マニュアル</p>
2	広い世代をターゲットとする石巻の飲食店等で提供する鯨肉商品の開発 【(株)木の屋石巻水産】	<ul style="list-style-type: none"> ・鯨肉を食す習慣をもたない若い世代に受け入れられるファーストフード感覚の鯨肉新商品の開発 ・業務用に展開可能な鯨肉の新商品開発  <p>鯨肉を使用した串カツ</p>
3	いわき市久ノ浜・大久地区 まちなか再生計画の作成 【浜風きらら(株)】	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか再生計画の策定・申請 ・認定を受けるための商業施設店舗導入計画の作成  <p>再生計画図</p>

支援成果概要は、次の通りです。

専門家プール 支援案件一覧(概要)

	事業者名	業種	支援概要
岩手県 (全7件)	(有)丸和	食品販売業	釜石エリア中心の宅配弁当事業からエリア拡大を検討している事業者に対し、進出エリアの市場環境調査とユーザー調査を行い、その結果よりマーケティング戦略策定を支援した。
	(株)松栄堂	菓子製造業	菓子販売の伸び悩みに直面していた事業者に対し、営業力の向上に向けて、営業組織体制の見直しとマーケティング戦略・プロモーション方針の見直しを支援した。
	(有)千葉恵製菓	菓子製造業	和菓子製造工場での生産方式と人材育成の両面で改善を検討している事業者に対し、生産工程の効率化と製造部門リーダーの育成を支援した。
	(株)バンザイ・ファクトリー	食品製造業	震災後に起業し、開発した商品の販路拡大を目指している事業者に対し、ブランディングの整理及びマーケティング再構築の支援を実施した。
	他3件（事業者の意向により、公表を差し控えております）		
宮城県 (全8件)	福德漁業(株)	水産業	独自の凍結技術を活用した凍結マグロを新たな事業の柱として計画していた事業者に対し、高付加価値商品プロモーション資料の作成と、販路開拓のための展示会出展の準備を支援した。
	(株)WATALIS	雑貨製造業	着物地によるリメイク雑貨商品のブランド強化及び店頭売上げ向上を目指していた事業者に対し、商品戦略策定と販売促進ツールの開発を支援した。
	(株)菅原工業	建設業	再生アスファルト舗装事業のインドネシア進出を計画していた事業者に対し、実現に必要なアスファルトの仕様策定や現地パートナー企業との合意形成を支援した。
	(株)みらい造船	造船業	震災で工場設備に甚大な被害を受けた造船業者の経営統合を検討していた事業者に対し、統合後の新造船工程の生産管理基準の策定、ルールや帳票等の統合版作成を支援した。
	アサヤ(株)	漁具販売業	漁船漁業や養殖漁業で使用する油圧機器の製作・メンテナンスを行う自社工場の稼働率や収益性向上を検討している事業者に対し、生産管理改善、生産性向上を支援を実施した。
	(株)丸ほ保原商店	水産加工業	レストランなど新たなマーケティング獲得を図っていた事業者に対し、牡蠣の燻製の試作品開発と消費者・業務用ニーズ調査と販路開拓を支援した。
	(株)木の屋石巻水産	水産加工業	鯨肉を食べる習慣を持たない若者に受け入れられる商品開発を検討していた事業者に対し、ファーストフード感覚の鯨肉商品の開発と業務用に展開可能な鯨肉の商品開発を支援した。
他1件（事業者の意向により、公表を差し控えております）			
福島県 (全6件)	浜風きらら(株)	まちづくり会社	まちなか再生計画の策定・申請を検討している事業者に対し、認定を受けるための商業施設店舗導入計画等の策定を中心とした支援を実施。
	(有)福島路ビール	酒造業	風評被害が著しい福島産フルーツの消費拡大を目指している事業者に対し、新商品及びリニューアルした既存商品の販売促進のためのツール製作やマーケティング調査を支援した。
	(株)いわきチョコレート	菓子製造業	震災後の売上回復を目指している事業者に対し、福島産フルーツを用いた新商品の開発及び包装パッケージ開発と販路拡大のための付加価値ツールの製作を支援した。
	(株)マツバヤ	小売業	自社商品のブランド開発を検討していた事業者に対し、ブランドコンセプトの構築および商材開発・販路開拓の支援を実施した。
	(株)ナプロアース	中古車部品販売業	中古車販売事業の拡大を計画していた事業者に対し、拡販体制を整備するため、幹部向けのマニュアルの策定及びスタッフのスキル育成を支援した。
	他1件（事業者の意向により、公表を差し控えております）		